

2022年7月28日

各 位

会社名 サイオス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
 (コード番号3744 東証スタンダード市場)
 問合せ先 執行役員 東 千晃
 電 話 03-6401-5111

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月3日に公表した2022年12月期連結業績予想の修正を、本日開催の取締役会において決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期連結業績予想の修正(2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,000	百万円 100	百万円 120	百万円 60	円 銭 6.92
今回修正予想(B)	15,000	△550	△500	△650	△74.98
増減額(B-A)	△1,000	△650	△620	△710	—
増減率(%)	△6.3	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (2021年12月期)	15,725	358	400	367	42.42

(2) 修正の理由

売上高においては、半導体不足によるハードウェア等の納期遅延により顧客のプロジェクトに遅延が生じている影響を受けて、主にRed Hat, Inc. 関連商品(*1)の販売、金融機関向け経営支援システム販売が当初計画を下回って推移しており、前回予想を下回る見込みです。

また、費用面においては、SaaS市場の拡大を見据えた新規事業(Med Tech(*2)、HR Tech(*3))の集中投資の実施、注力事業である「Gluegent シリーズ」(*4)の製品開発・マーケティングを一層強化していることにより、当初計画よりも増加する見込みです。

営業損益以下の各段階損益は、減収に加えて、事業成長に向けた先行投資の影響により、赤字となる見通しです。また、金融機関向け経営支援システム販売事業の固定資産の減損損失29百万円、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額77百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

なお、当社は将来の成長を見据え、中長期的な視点で人材確保と先行投資を行っていますが、新規事業を中心とした潜在顧客は増加傾向にあります。そのため、2022年12月期の配当予想（1株あたり10円）につきましては、現時点で変更の予定はありません。

(*1) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*2) Med Tech

Medical（医療）と技術（Technology）を組み合わせた造語。

(*3) HR Tech

Human Resources（人的資源管理）と技術（Technology）を組み合わせた造語。

(*4) Gluegent シリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(注記) 本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上